

# アグリ ワーク ポイント AGRI WORK POINT



## 次年度に向けて

果樹林産センター 青島 大貴



### 貯蔵

温州ミカンを貯蔵するのに適した温度は3〜6℃、湿度は85%程度です。貯蔵庫内の温度が高くなっている場合は、夜間の冷涼な外気を導入して換気を行い、庫内の温度が下がるようにします。湿度が85%よりも高いと、予措戻りによる浮皮や腐敗果の発生が多くなります。一方で湿度が80%を下回ると果皮のしおれが激しくなり、しなび果が生じます。複数箇所に温湿度計を設置して定期的にチェックを行いましょう。また、貯蔵している果実は定期的な点検を行い、腐敗果を見つけたら健全な果実に移らないように、すぐに取り除きましょう。

### 病害虫防除・樹勢回復

ミカンハダニやカイガラムシ類の防除には、冬季のマシン油乳剤散布が効果的です。厳冬期は落葉などが心配されるので、1月中旬までに散布しましょう。ミカンハダニやカイガラムシ類が潜む葉裏や樹冠内部にしっかりと薬剤がかかるように、丁寧に散布してください。尿素を混用すると樹勢回復や花芽分化の充実にもつながら効果的です。また、降雨により効果が減退するため、5日程度晴天が続くことを確認して散布しましょう。

### 寒害対策

冷気が停滞しやすい場所や風の当たりやすい場所は、寒冷紗やコモで樹を覆います。また、土壌の乾燥は寒害を助長します。敷き藁を実施し、乾燥防止に努めましょう。特に幼木は影響を受けやすく、落葉や枝枯れが発生する可能性があります。樹全体を寒冷紗などで覆うことも対策として効果的です。

対象病害虫	散布時期	散布薬剤	希釈倍率
カイガラムシ類 ハダニ類	1月上旬 ~中旬	マシン油乳剤(97%)	60倍
—		尿素	500倍